



令和7年7月23日

報道機関 各位

## 「大学生からの提言：上田都市圏の未来デザイン」 フィールドワーク発表会

上田都市圏の将来の姿について、5大学の学生30名（学部生・院生・留学生・社会人学生）が、多様な分野でまちづくりを専門とする7大学の教員9名・社会人3名の指導の下、短期間で調査・考察・議論した結果を、下記の2日間に分けて発表しますので、取材方よろしくお願いたします。

学生の所属：東京大学・筑波大学・立命館大学・三重大学・長野大学

教員の所属：上記大学に加えて、宮城大学・日本福祉大学・株式会社三菱地所設計

**I 日時：8月1日（金曜日） 15時30分から16時40分**

**場所：サントミュージゼ 多目的ルーム**

- 1. 外国人留学生グループ：『持続可能な文化と芸術の拠点（ホーム）としての上田市』**：外国人学生が、世界的な潮流と日本人にない視点から上田を観察・調査し、魅力のある地域資源として文化と芸術に注目し、インバウンドのアイデアとして提案します。
- 2. 日本人学生グループ：『記憶の種蒔き、未来を紡ぐ ～別所温泉版アルベルゴ・ディフーゾ～』**：別所温泉全体を一つの宿に見立てた提案を行います。学生が観光滞在を楽しめる、上田や別所温泉ならではのコンテンツもあわせて提案します。



**II 日時：9月2日（火曜日） 14時20分から15時50分**

**場所：まちなかキャンパスうえだ（上田市中心2-5-10丸陽ビル1階）**

- 3. 街道活性化グループ：『学生目線からみた北国街道柳町の「将来像」の提案 ～隣接する勤労福祉会館の活用と合わせて～』**：上田市の重要な観光資源でもある柳町を更に輝かせるにはどうすれば良いか。観光のみならず地域との連携や隣接する公共施設の利活用と併せて学生目線で柳町の将来像を提案します。
- 4. まちなか再生グループ：『上田市まちなかの将来像 ～知る、紡ぐ、上田の未来～』**：様々な年代の学生に愛され使われる中心市街地をイメージし活性化策を提案します。「拠点間をつなぐ回遊性の向上」までの段階的な取り組みを通じて、若者が愛着を育み、住み続けたいと思うまちなかの実現を目指します。
- 5. モビリティ改善グループ：『上田都市圏における学生を対象とした複合的なモビリティマネジメントの提案』**：上田に通う学生へ、公共交通・シェア交通の積極的な利用を働きかけ、多様な魅力の再認識・発信を促進することで、住み続けたい都市圏の形成を目指します。



※本動画・画像使用等に関するお問い合わせは、下記担当までご連絡ください。

上田市は  
「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を  
支援しています。

本件に関する問合せ先

上田市政策企画部学園都市推進室 室長 清住（担当者 係長 内海）

TEL 0268-75-2502